

ネパール地震被災地支援 No.3

世界 YMCA 同盟スタッフの現地訪問 6/3-8

世界 YMCA 同盟
ホームページより

ネパール YMCA では

ネパール YMCA は 1997 年に設立し、1000 人のメンバーがいます。カトマンズでは、50 人規模の認可小学校と、同じ建物でチャイルドケア（児童養護）を行っています。



子ども達に「将来は何になりたい？」と聞くと女の子の大半は教師に、男の子たちはパイロットと答えた

震災では建物は無事でしたが、屋上の貯水タンクが壊れてしまいました。震災前には、ソーシャルワーク、若者や女性のエンパワーメント、市民教育、国内の多くの地域で環境アクションを行っていました。総主事はムクティ氏です。



街の様子。片づけをする住人が見える

地震発生直後にネパール YMCA では震源に近く政府や国際機関の援助がほとんどなか

今後の取り組み（予定）

世界 YMCA 同盟 HP より

今後ネパール YMCA と世界 YMCA 同盟を中心に計画の詳細を作成します。。

1. ネパール YMCA チャイルドケアセンターの改修。
2. クルサニバリー村の小学校再建とトイレ設備の改修。
3. カトマンズ他 3 つの村の子ども 200 人に対する教育奨学金の提供。
4. ネパール YMCA の運動強化
2016～2018 年の持続可能な戦略的計画を策定
* 計画が進められるよう、寄付と祈りを持ってネパール YMCA の働きに協力していきます *

った Sindhupalchowk 地区の村に米、麺、砂糖、紅茶、水、薬を配布しました。道路が一部破壊し、多くの建物が倒壊していました。

Khursanibary 村を訪ねて

倒壊した建物の間を車で 2 時間、カトマンズ郊外 30 km の山の上にある Khursanibary 村では、16 家屋と仏教系の小学校が全壊していました。YMCA ではすでに食品、水、医療、テント、小学校の教材や備品を提供しました。村では学校の再建を計画しています。



ワールドチャレンジの日に、子ども達とサッカーを楽しんだ



倒壊した家の主人に「なぜ笑顔なのですか？」と尋ねると「家は崩れたが、庭の美しい花々を神は守ってくれた。」と答えた

翌日カトマンズのホテルで余震を経験しました。建物が海上の船のように動いているように感じました。ネパールの最大英字新聞「ヒマラヤ・タイムズ」によると犠牲者は 8709 人とのことでした。

(世界 YMCA 同盟ホームページより)

公益財団法人 日本 YMCA 同盟

担当：山根・田尻・市来

TEL 03-5367-6645

FAX 03-5367-6641

E-mail: info@ymcajapan.org

Emergency Support for Nepal